

## 景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和元年8月)

### ～DIは前月を上回るも、日韓問題による訪日客の減少が顕在化～

- 景気ウォッチャー調査・8月調査の近畿地域の結果は、現状判断が45.3と4か月ぶりに上昇した。ただし、DIの水準は好不調の判断の分かれ目である50を9か月連続で下回っている。一方、先行き判断は42.3と2か月連続の低下となった。
- 足元の景気は、引き続き気温・天候要因の影響を大きく受けている。月上旬から中旬は例年を上回る暑さとなり、夏物商材の需要は高まったものの、暑すぎて客足が減る動きにもつながっている。また、中旬にかけての気温の上昇は、秋物の販売にも一部でマイナスとなった。さらに、日韓問題による韓国での不買運動が、訪日客の減少にもつながっている。結果として、百貨店での来客数の減少や、ホテルでの宿泊客が減少し、関連業界からは懸念の声が上がっている。
- 一方、消費増税の実施が近づく中、依然として駆け込み需要の動きは、乗用車や百貨店を中心に、業界の予想を下回る動きとなっている。それに加えて、スーパーや衣料品などでは、増税を見据えて節約志向が強まるなど、マイナスの動きも同時に発生している。
- 先行きについては、やはり消費増税の実施に対する不安が広がっている。百貨店やスーパーを中心に、家電や乗用車、住宅といった幅広い業界から、需要の減少を懸念する声が聞かれる。
- さらに、米中貿易摩擦、日韓問題による影響への不安も引き続き大きい。米中貿易摩擦については、輸出面の影響もさることながら、株価の低下につながるとの見方が多く、百貨店を中心とした不安の声が目立つ。一方、日韓問題については、引き続き訪日客の減少への懸念が強く、百貨店やホテル、レストランなど、幅広い業界から不安の声が上がっている。

#### 「日韓問題」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	やや良くなっている	百貨店(マネージャー)	・百貨店全体の婦人服売上は苦戦したものの、当店ではクリアランスからの切替え用に、定価品の在庫を確保したことが奏功し、比較的好調に推移している。結果として、7月は特価品を買い、8月は定価品をかうという、消費者のメリハリのある購買行動が浮き彫りになった。日韓関係の悪化による影響もさほどなく、インバウンド需要も堅調であった。猛暑や中旬の大型台風で来客数がダウンした日もあったが、売上への悪影響は余りみられない。
	変わらない	百貨店(サービス担当)	・今月はお盆に台風がきたほか、日韓間の政治問題などで、韓国人の入店客が前年比で4%減となっている。売上は前年並みをほぼ確保できているものの、今後の推移には注意が必要な状況である。
		その他小売[インターネット通販](企画担当)	・僱事関連の売上は苦戦しているが、婦人服を中心に前年を上回っている。また、日韓間の政治問題の影響もあり、インバウンドの来店は前年を下回っているが、客単価の上昇で売上の減少は軽微にとどまっている。
	やや悪くなっている	都市型ホテル(客室担当)	・日韓関係の悪化により、韓国人の訪日客数は前年比で32%と落ち込んでいる。ホテルの供給過多もあり、客室単価も1.3%落ちている。
一般小売店[精肉](管理担当)		・8月は夏休みであり、当店は観光スポットのメイン通りに面しているため、例年ある程度はにぎわう。しかし、今年は平日のような人通りで、お盆休みが大型であったにもかかわらず、人通りが増える様子は全くなかった。また、韓国や香港の情勢も影響しているのか、アジアの観光客が極端に減ったと感じる。	
		一般小売店[鮮魚](営業担当)	・韓国の不買運動による観光客の減少や、香港の暴動による影響を大きく受けている。

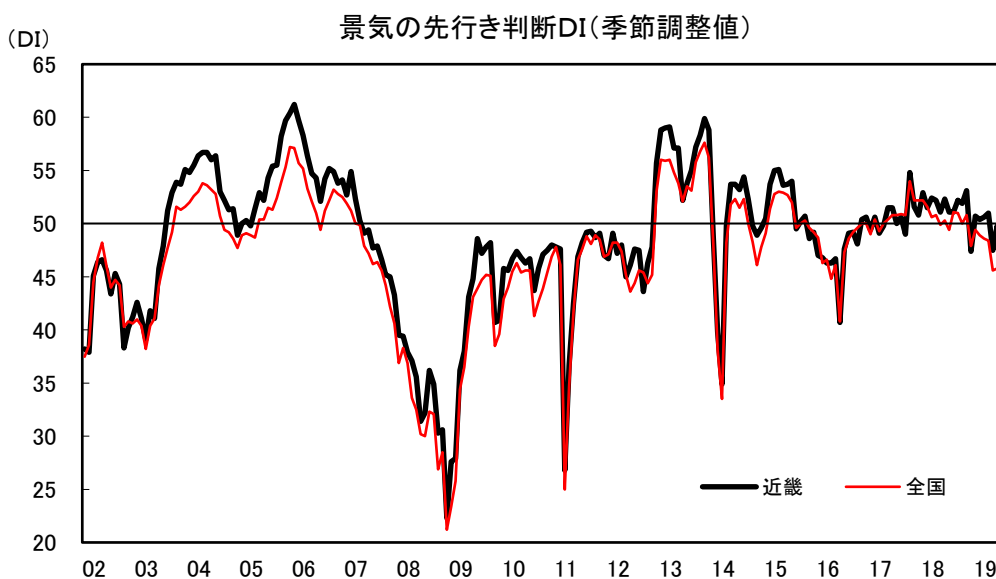
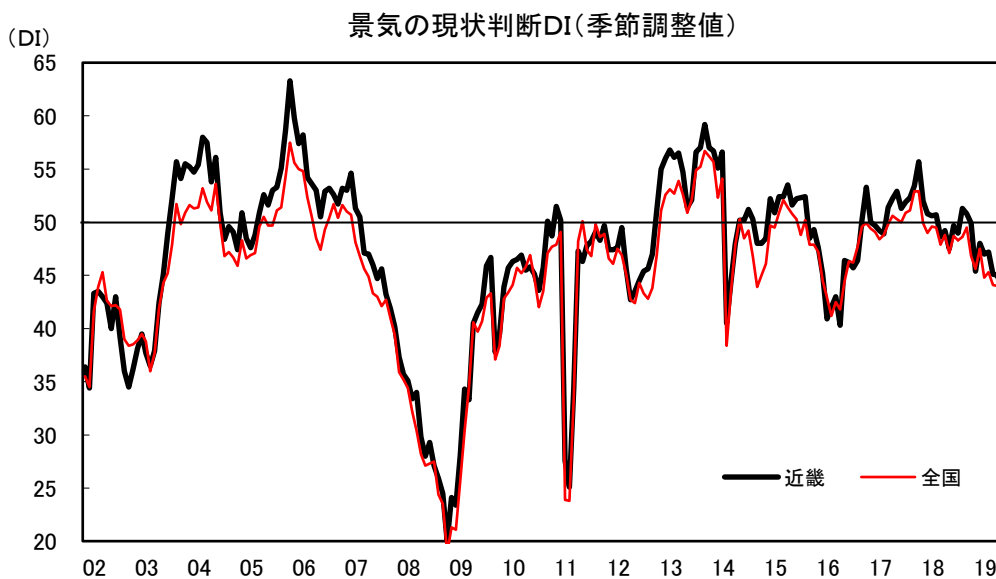
家計動向関連	やや悪くなっている	百貨店（外商担当）	・気温の高い日が続き、秋物の婦人服の売上が低調である。さらに、日韓関係の冷え込みにより、インバウンド売上も前年並みにとどまっている。消費税増税前の駆け込み需要もほとんどみられない。
		百貨店（商品担当）	・お盆休みに西日本を直撃した台風10号により、一部で閉店時刻を繰上げたため、来客数が伸び悩んだ。また、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化により、地方や郊外店では、インバウンドの来店が減少した。都心店が全体を押し上げているものの、伸び率が鈍化している。一方、夏物商材の処分期に気温が高くなったことで、特に婦人雑貨は好調に推移している。
		一般レストラン（経理担当）	・台風の上陸に日韓関係の悪化と、お盆は大荒れである。
		都市型ホテル（管理担当）	・ホテルの供給過剰で厳しい状況が続いている。また、日韓関係の悪化に伴い、韓国からの観光客が皆無の状況である。
		旅行代理店（従業員）	・韓国や香港といった、アジア方面への旅行人数が減少している。
		旅行代理店（支店長）	・韓国や香港への旅行が完全に止まっている。現状、どんなプロモーションをしても意味がなく、待つしかない状況で、先が見通せない。
		旅行代理店（営業担当）	・夏以降は個人消費が落ち込んでいるのに加え、米中、日韓間の政情不安の影響で、インバウンド需要に影響が出始めている。
企業動向関連	変わらない	金融業〔投資運用業〕（代表）	・日韓関係の悪化による影響は、景気を左右するほどではない。観光業界では売上の減少を嘆く声もあるが、もともと観光は、天候不順や自然災害で一時的に売上が落ち込むことはめずらしくない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・日韓関係の悪化により、ターミナル駅を中心に、韓国からの旅行者の減少が顕著である。その一方、中国人観光客が増えているとの情報もあり、インバウンド売上自体に影響はない。
	悪くなっている	広告代理店（企画担当）	・株価の下落が激しく、取引先との会話でも、景気の先行き不安の広がりを感じる。消費税増税前のセールなども行うが、消費者は前回の増税前ほど熱くおらず、盛り上がり欠ける印象がある。また、韓国関連の問題で、インバウンド需要が減っている。

### 「消費税」関連のコメント（現状判断）

家計動向関連	良くなっている	家電量販店（店員）	・消費税増税を前に、購買意欲が上がってきている。9月に入ればもっと良くなるはずである。
		家電量販店（人事担当）	・テレビは家電のエコポイント制度から10年が経過して、4Kテレビへの買換え時期となり、パソコンも主要OSのサポートの終了時期ということで、それぞれが消費税増税と相まって、販売量の増加につながっている。
	やや良くなっている	家電量販店（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要が堅調で、販売量が伸びている。
		家電量販店（店員）	・景気自体が良くなっているわけではなく、単に消費税増税関連の需要があるだけで、増税効果も期待したほどではない。客の様子を見ると、増税前と増税後のどちらで買うのが得かを考えている。
		家電量販店（企画担当）	・消費税増税前の駆け込み需要の動きが出てきた。増税後のポイント還元よりも、目先の現金の方が、感覚やイメージに与える影響が大きいと感じる。
		住関連専門店（店員）	・8月は客が増え、成約につながることも多かった。ただし、これは消費税増税前の一時的な動きのような気がする。
		旅行代理店（役員）	・3連休での需要や、消費税増税前の駆け込み需要も見受けられる。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要で、客からの部品交換の依頼が増加している。一時的な傾向と考えられるが、対応に追われている。
	変わらない	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・消費税増税が迫ってきたため、駆け込み需要が増えると期待していたが、盛り上がりは感じられない。
		百貨店（売場主任）	・猛暑のため、紳士、婦人衣料品の販売は前年を上回るが、インバウンド比率の高い化粧品の上などは、前年から1割近く落ち込んでいる。一方、高額品の動きは活発で、消費税増税前の駆け込み需要が活発化してきている。
		百貨店（販促担当）	・ようやく夏らしい気候となり、夏物商材がファッション、雑貨共に活発に動いている。ただし、相変わらず冷静な購買動向であり、価格だけでは動かない傾向が続いている。食品も、家で料理を避けたい揚げ物が好調で、冷菓などととも動いている。一方、消費税増税を意識した動きは、まだ目立たない。
		百貨店（営業推進担当）	・為替や政治面での影響もあって、訪日観光客の消費が減少している。一方、お盆休みの大型化による影響は、ゴールデンウィークほど客が分散せず、来客数の落ち込みはみられない。ただし、前月までと同様に購入意欲が低く、消費税増税前の駆け込み需要もほぼみられない。富裕層の一部では、家具などを買換える動きもあるが、一般客にまでは広がっていない。
		百貨店（販売推進担当）	・消費税増税を前に、輸入の特選品や、時計、宝飾品の動きが活発になってきた。インバウンドも中旬以降は復調し、前年の実績を上回っている。
		スーパー（経理担当）	・天候の影響も大きいですが、基本的な消費マインドが余り強くない。消費税増税に伴う軽減税率の適用商品には駆け込み需要もないため、足元は売上が伸びる環境ではない。
スーパー（販売促進担当）		・梅雨明けが遅れたほか、8月後半は雨が続いたため、販売状況が良くない。9月に入り、消費税増税の駆け込み需要が出てくると予想されるが、現時点ではそれほど購買意欲の高まりが感じられない。	
乗用車販売店（営業担当）		・10月に実施される消費税増税を見据え、数か月前から乗換えのキャンペーンなどを開催しているが、高額商品の購入には慎重な客が多い。現在も顕著な駆け込み需要はみられず、受注台数も伸びていない。	
その他専門店〔食品〕（経営者）	・消費税増税前であるが、食品には特需のような動きはなく、良い状況ではない。		

家計動向関連	変わらない	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・今月はお盆ぐらいまでは売上目標を上回り、買上点数は増加し、客単価も80円強上がるなど好調であった。ただし、同じ商品を大量に買う客が多く、恐らく消費税増税前のまとめ買いであるため、決して景気が良くなっているわけではない。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・消費税増税前でも、特に動きはみられない。
		通信会社（社員）	・今夏のサービス加入数は、少し芳しくなかった。消費税増税前のテレビの購入も、ケーブルテレビの新規申込みにはつながっていない。
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・今月は目標を上回る見込みである。ただし、前月は気候の影響もあって苦戦したにもかかわらず、その分を補う勢いはない。また、インバウンド需要も従来ほどの伸びはない。消費税増税前であるが、国内客の消費は一部の商品に限定され、価格が安くても不要不急の商品は買わない傾向がより一層強くなっている。
		百貨店（外商担当）	・気温の高い日が続き、秋物の婦人服の売上が低調である。さらに、日韓関係の冷え込みにより、インバウンド売上も前年並みにとどまっている。消費税増税前の駆け込み需要もほとんどみられない。
		百貨店（マネージャー）	・化粧品や特選品を中心に、インバウンド売上が前年比で9.7%減と厳しい。ただし、時計や宝飾品、美術品など的高額品の売上は、消費税増税前の駆け込み需要も一部にあって好調で、平均単価は2.7%上昇している。
		スーパー（店長）	・7月は前年との天候の差が大きく、季節品を中心に厳しい動きであった。8月はお盆までは堅調であったが、それ以降は、お盆明けの節約の動きと、消費税増税前の買い控えが顕著となっている。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税増税まで2か月を切り、駆け込み需要の取り込みを図ったが、不発に終わっている。政府による駆け込み需要の抑制発言も影響している。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要が全くない。
		住関連専門店（店長）	・税務署によると、契約日ではなく納品日が9月末までであれば、現行の消費税率が適用される。受注生産が多い当店は、既に前倒しで増税が始まっているようなものである。納期が10月以降ならば増税対象と伝えた途端、取引先の不興を買う。失注するか、商談自体を先延ばしされるなど、値上げ以外のデメリットも出ている。今回の増税は、前回よりも取引先の不満の声が大きい。
		テーマパーク（職員）	・消費税増税の影響がやはり出ているのか、買い控えは間違いなく起きている。
	悪くなっている	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・住宅の購入に消費税増税前の駆け込み需要はなく、前年を下回る客の動きとなっている。
		衣料品専門店（経営者）	・衣料品に関しては、以前は消費税増税前の駆け込み需要があったが、今回は節約しようとする客が多い。
	企業動向関連	なやや良くなっている	一般レストラン（経営者）
経営コンサルタント			・小売業の取引先をみていると、若干であるが、消費税増税前の駆け込み需要が出ている。ただし、期待したよりもかなり少なそうである。
やや悪くなっている		経営コンサルタント	・小売業の動きを中心にみると、今夏は猛暑や長雨のため、業種ごとにプラスとマイナスが入り混じっている。そこに消費税増税が迫ってきたこともあり、主婦層の買い控えが厳しく、動きは余り良くない。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・10月の消費税増税のほか、水俣条約で2020年12月31日以降は水銀灯ランプや蛍光灯が製造禁止となるため、LEDの利用が加速すると予想していたが、それほどでもない。良くなる話題が少ない。
悪くなっている	広告代理店（企画担当）	・株価の下落が激しく、取引先との会話でも、景気の先行き不安の広がりを感じる。消費税増税前のセールなども行うが、消費者は前回の増税前ほど熱くならず、盛り上がりには欠ける印象がある。また、韓国関連の問題で、インバウンド需要が減っている。	

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		17年					18年								19年										
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
現状判断	近畿	51.9	52.3	53.4	55.7	52.0	50.8	50.6	50.7	48.6	49.2	47.5	49.7	49.0	51.3	50.8	49.9	45.4	48.0	47.0	47.2	45.1	45.0	43.8	45.3
	(全国)	50.9	51.1	52.9	52.9	49.9	49.0	49.6	49.5	47.9	48.8	47.1	48.7	48.3	48.6	49.5	46.8	45.6	47.5	44.8	45.3	44.1	44.0	41.2	42.8
先行き判断	近畿	49.0	54.8	51.6	50.8	52.9	51.5	52.4	52.2	51.1	52.3	51.1	51.1	52.2	51.9	53.1	47.4	50.7	50.4	50.6	51.0	47.5	49.8	46.3	42.3
	(全国)	50.8	54.0	52.2	52.2	52.2	51.6	50.6	50.8	49.9	50.3	49.4	51.1	51.0	50.0	50.8	47.9	49.4	48.9	48.6	48.4	45.6	45.8	44.3	39.7

※季節調整値